

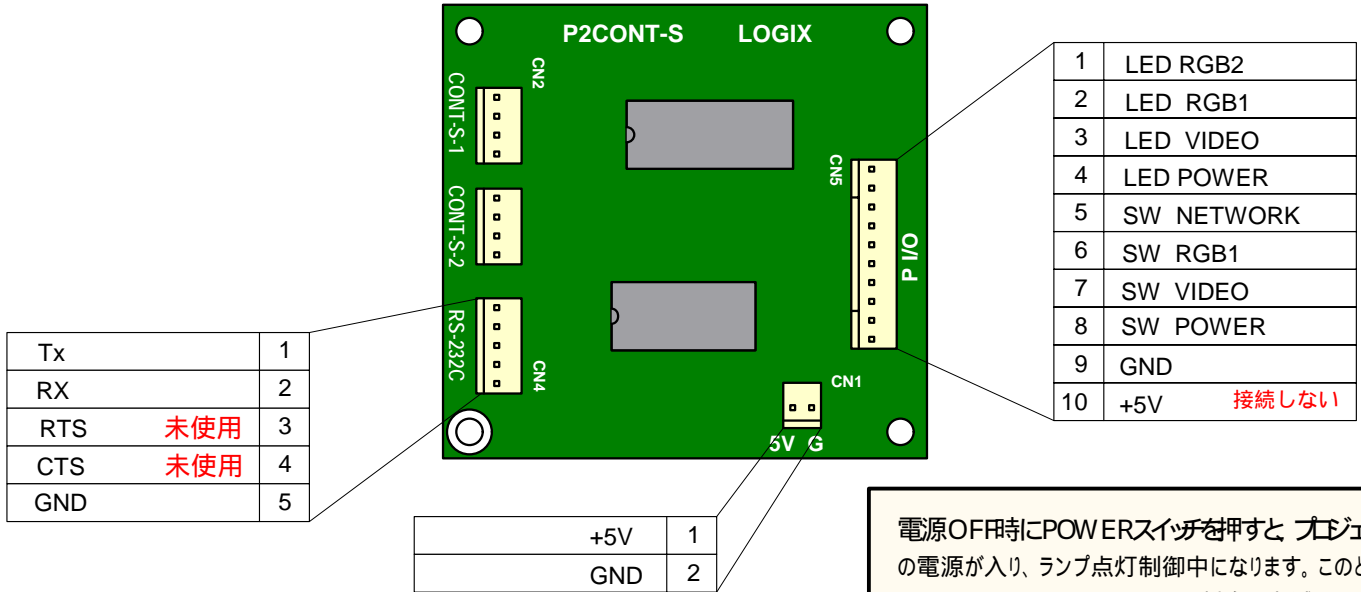
# 信号変換基板 取扱説明書

接点 RS232C  
松下プロジェクト TH-L735NT用

(有)ロジックス

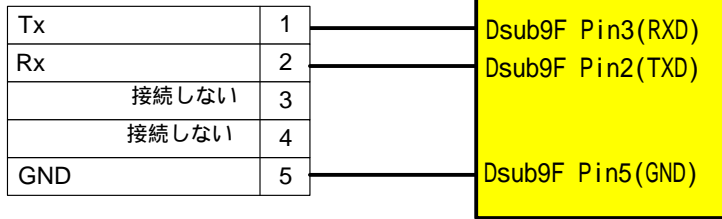
857-0055  
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp  
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp  
FAX : 0956-25-3964

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

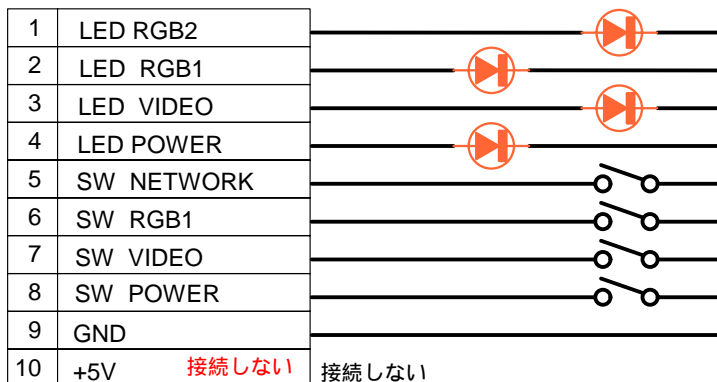


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力: DC5V 50mA以下)

CN4 : RS-232C入出力



CN5 : パラレルコントロール入力



電源OFF時にPOWERスイッチを押すと、プロジェクトの電源が入り、ランプ点灯制御になります。このとき、LED - POWERはオン3, オフ1の割合で点滅します。点灯制御中、もう一度POWERスイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中は、LED-POWERが1対1の割合で点滅します。

電源オン時、POWERスイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中は、LED-POWERが1対1の割合で点滅します。消灯への移行時は再度POWERスイッチを押しても、点灯制御には移行しません。消灯制御中のランプが消えると、POWERオン受付可能になります。電源オフへの移行時、今まで点灯していた入力ポジションランプはすべて消灯します。

電源オン時、入力切換スイッチ (SW VIDEO, SW RGB1, SW DVI) を押すとプロジェクトは対応する入力に切り替わります。このとき対応するLEDも切り替わり点灯します。入力ポジションのLEDはプロジェクトの状態を反映しているわけではなく、最後に押されたスイッチの状態を示しています。電源オフ時は入力切換は機能しません。

これらの端子をGNDに接続すると、該当するRS-232Cコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。